平成29年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

「人間尊重の教育」を基盤に、自ら考え正しく判断し行動できる豊かな心と、健やかな体を持ち、たくましく生きる児童を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- ・思いやりのある子ども（思いやり星）
- ・よく考え進んで学ぶ子ども（学び星）
- ・健康でねばり強い子ども（健康星）
- ・働く喜びを知る子ども（働き星）

2 学校経営の理念

— 勤労・奉仕・思いやり・共に学ぶ楽しい学校 —

これからの新しい時代を生きぬく児童一人一人の確かな成長のためには、学習がよく分かる喜び、自分の役割が分かり居がいのある喜び、友達や先生と心が通い合う喜びを味わわせること、さらに体得したことをもとに課題を解決する力や創造する力を身に付けさせることが大切であるとする。そして、ルールやマナーを守り、思いやりのある心豊かな児童を育成するためには、自然体験、勤労活動等の体験活動を計画的・体系的に推進し、規範意識やコミュニケーション能力の大切さを体得させるとともに、豊かな人間関係を育む必要がある。

そのためには、本校の伝統と校風を引き継ぎつつ、全ての教職員が組織の一員としての自覚を持ち、個々の能力を発揮するとともに、互いに研鑽しあい、よりよい指導を行っていくことが不可欠である。また、保護者・地域の皆さんにとっても、学校が安心感のもてるところであり、学校に積極的に協力することで、保護者・地域の皆さんが持つ教育力を十分に発揮できる場であることが必要である。共に学ぶ楽しい学校を目指し、学校・保護者・地域が一つとなった、地域とともにある学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針

- (1) 思いやりの心の育成：道徳の時間や体験活動を重視した心の教育の充実を図る。
- (2) 学力向上：分かる授業の展開に努め（授業力向上）、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。
- (3) リーダー性の育成：児童会活動の活性化を図るとともに、社会性の育成に努める。
- (4) 地域に開かれた学校づくり：地域の教育力を積極的に活用し、活気あふれる学校づくりに努める。

[横川地域学校園教育ビジョン]

豊かな心の育成を目指す 横川地域学校園の小中一貫教育

～自分・人・地域を大切にすることの育成を目指して～

4 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

(1) 学校運営

- ・教職員の児童と向き合える時間の確保に向け、業務の効率化に努める。
 - ・教職員自らが学び合い、資質の向上に励む取組の推進に努める。（法令遵守・授業力向上等）
- 小中一貫教育・地域学校園に係る事業の効果的で円滑な運営に努める。
（乗り入れ授業、研究授業等の積極的な交流等、外国語の授業力向上を図る取組の充実）

(2) 学習指導

- ・基礎・基本の習得と学び合いによる思考力・判断力・表現力の育成
～学力向上の取組みを通して～

(3) 児童生徒指導

- ・学校や社会の決まりやマナーを守り、相手の気持ちを考えて生活できる児童の育成
（社会性・リーダー性の育成）

(4) 健康（体力・保健・食・安全）（元気アップ教育に係る取組を含む）

- ・自ら進んで心と体の健康づくりに取り組む児童の育成

5 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

6 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

- ・自他のよさを認め合い、思いやりの気持ちを持って助け合い協力する態度の育成
- ・自主的に考え行動する力や、自己表現力、粘り強くやりぬく心と態度の育成

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

①思いやりの心を育てるふれあい活動【思ちゃん活動】

- ・地域・保護者の学習ボランティアとのふれあい
読み聞かせ、昔遊び、昔のくらし体験、書道教室、横央祭 等
- ・親子でのふれあい
各学年親子ふれあい活動、親子給食、奉仕作業 等
- ・異学校・異学年とのふれあい
あいさつ運動、保育園との交流、留学生との交流、縦割り班清掃、縦割り班活動 等
- ・地域とのふれあい

地域を生かした活動（横川の自慢探検、ザリガニつり）

育成会（飯盒炊爨、夏休みラジオ体操、花いっぱいコンクール、横川ふれあい祭り、凧揚げ大会）

②福祉・奉仕の心を育む勤労体験活動【働りん活動】

- ・地域との交流・・・特別養護老人ホーム等との交流、運動会での高齢者の招待、社会福祉協議会の協力を得た体験活動（点字・手話等）、田川歩道のコスモス種まき
- ・農園活動・・・田植え、稲刈り、じゃがいも掘り
- ・清掃活動・・・縦割り班での清掃活動（清掃班会議・長期休業前のピカピカ週間）、クリーン活動、6年生のボランティア清掃、昼休み靴箱清掃、親子奉仕活動
- ・学校行事等の準備・片付け活動・・・プール清掃、各種行事の準備・片付け

7 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む」）

①基本的考え

学校は、保護者・地域の方々にとっても安心感のもてる場所であり、学校に積極的に協力することで、保護者・地域の方々を持つ教育力を十分に発揮できる場であることが必要であることから、共に学ぶ楽しい学校を目指し、学校・保護者・地域が一つとなった、地域とともにある学校づくりを推進する。

②主な取組

- ・地域の教育力の積極的な活用 ・年間通してのフリー参観 ・地域諸団体との連携
- ・その他、特色ある学校づくりの具体的な取組に掲載

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

横川地域学校園内のすべての児童生徒に、学力や豊かな心、健康・体力等を着実に身に付けさせるとともに、一人一人が充実した学校生活を送れるよう、小中教員の相互理解をさらに深めた小中一貫教育の実践に努める。また、地域の教育資源を児童生徒の学びに生かすとともに、大人も子どもも学びを深める横川地域学校園の充実に努める。

②主な取組

- ・相互乗り入れ授業・道徳の授業参観・校内研修の相互乗り入れ・英語の授業力向上
- ・「いじめゼロ・あいさつ・時間・言葉づかい」（共通スローガン）の実践
- ・家庭学習の習慣化の推進、「お弁当の日」の指導、9年間継続の歯磨きタイムの実施

平成29年度 学習指導に関する取組

1 学習指導上の主な実態

(1) 学習内容定着度調査やとちぎっ子学力状況調査などから

- ・ 国語では、6年生は、総合で市の平均を下回っていて、特に「話す・聞く能力」と「書く能力」と「読む能力」においては、2～5ポイント低い。だが、「言語についての知識・理解・技能」は県の平均とほぼ同じである。5年生は、3観点においては2～4ポイント市の平均を上回っているが、「話す・聞く能力」は市の平均より4ポイント低い。基本的な学習スキルの定着を図るとともに、基礎的な学習に対する意欲を高める必要がある。
- ・ 算数では、6年生は、「数量や図形についての技能」と「数量や図形の知識・理解」においては、市の平均より2～4ポイント低い。そして、「数学的な考え方」においては市の平均より11ポイント低い。特に分数の計算、計算のきまり・変わり方調べ、図形や折れ線グラフの理解などに課題があることが分かった。5年生は、3観点において市の平均を上回っている。特に「数量や図形についての技能」は市の平均より9ポイント高いが、「□を使った式」は市の平均を下回っている。計算の技能の定着や基礎力を確実に身に付けるとともに、数学的な考え方についての問題を解けるような学力を身に付ける必要がある。

(2) 学習と生活についてのアンケートから

- ・ 「勉強が好き」の項目では、2・3・4・6年生が市の肯定割合より上回っているが、「自分から進んで勉強に取り組んでいる」の項目においてはどの学年も下回っている。学習に対して主体的に取り組もうとする態度を引き続き育てていきたい。
- ・ 授業への取組については、学年によって肯定的に回答する児童の割合が高くなったり低くなったりしている。「授業に必要な用具を忘れずに持ってくる」の肯定的割合は、5・6年生がほぼ市と同等で、他の学年は上回っている。また、「返事をする」は4年生が下回っているが、2・3・5・6年生は上回っている。「話を最後まで聞く」は4・5年生が、市の平均を下回っているが、2・3・6年生は上回っている。学習ルールや学習スキル（聞くこと・話すこと）の定着を引き続き指導していきたい。
- ・ 家庭での学習については、「宿題をきちんとやり提出している」の肯定割合が、どの学年も同等か上回っている。「次の日の学校の用意をする」の肯定割合は、2年生がやや低くなっている。家庭と連携をして、家庭学習の習慣化を図っていきたい。

(3) 授業等への取組状況から

- ・ 教師から指示された課題については、解決に向けてまじめに取り組んでいる。また、作業的・体験的な学習に意欲的に取り組み、その体験が学習に生かされつつある。
- ・ 自ら進んで課題を設定し、自分なりの見通しや方法を考えて主体的に学習に取り組もうとする意識や態度がまだ不十分である。
- ・ 自分の考えを積極的に表現しようとする意欲やお互いに考えを出し合って発展させていこうとする姿勢が少しずつ見られるようになってきたが、まだ十分とはいえない。今後一層学び合いの場の工夫や言語活動の充実を図り、豊かな表現力を育成していきたい。
- ・ 自己を振り返り、自らのよさに気付いたり、反省をもとによりよく改善していこうとしたりする意欲や態度の育成がまだ十分ではない。

2 今年度の重点目標（地域学校園内で共通する重点目標は、文頭に○または該当箇所に下線）

基礎・基本の習得と学び合いによる思考力・判断力・表現力の育成

～学力向上の取組を通して～

3 今年度の取組（地域学校園内で共通する取組は文頭に○、「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に☆）

- （1）自分の意見や考えが持てるようにするための基礎力の定着
 - ☆ 話の聞き方，発表の仕方，ノートを取り方など基本的な学習態度・学習技能を身に付ける指導（通年）
 - 地域学校園共通の「授業の約束」や学習の仕方の徹底（通年）
 - ☆ 計算・漢字や音読等のスキルアップタイムの実施と反復学習の充実（通年）
 - ・ 算数を中心にしたコース別習熟度学習や少人数指導の効果的な指導の充実（通年）

- （2）思考力・判断力・表現力を高める学習指導の工夫・改善
 - ☆ 全国学力調査・とちぎっ子学習状況調査，学習・生活アンケートの結果を基にした課題の把握と授業の改善
 - ☆ 「分かる授業」に向け，授業のねらいや児童に身に付けさせる資質や能力の明確化（通年）
 - ・ 友だちとの話し合いを通して，お互いに考えを深めたり広めたりする学び合いの場の設定や手立ての工夫（通年）
 - ・ 学習のスマールステップを大切に，児童一人ひとりが「できた」という喜びを味わえる学習支援や場の設定の工夫（通年）
 - ・ 自分の思考過程が分かるノートの取り方や学習プリントの工夫（通年）
 - ・ 言語に親しみコミュニケーション力を伸ばすスキルの工夫（通年）
 - ・ 自己のよさや友達のよさを見つけあう自己評価や相互評価の工夫（通年）
 - ・ 学習活動のツールとしての情報機器の積極的な活用（通年）
 - ・ 学習支援ボランティアを活用した資料の教材化と有効活用（通年）
 - ・ 一人一授業の計画実践を通しての授業力・教師力の向上（6月～1月）

- （3）表現力の向上を目指す読書活動の充実
 - ☆ 全校一斉読書の実施（毎週月，金）
 - ・ 読書週間の実施（10月）
 - ・ チャレンジブック（1学期用20冊・2学期用20冊）の実施（通年）
 - ・ 読み聞かせボランティアを活用した読み聞かせの実施（月1回通年）
 - ☆ 学習情報センター，読書センターとしての学校図書館機能の促進

- （4）家庭・地域との連携・協力
 - ☆ 「家庭学習の手引き」のパンフレット等の配布により家庭学習の啓蒙と習慣化（通年）
 - ☆ 学力向上に対する学校の取り組みを保護者へ説明する学級懇談の実施（6月）
 - ・ 懇談会において，とちぎっ子学習状況調査，学習・生活アンケートの結果を生かした学習指導の説明（6月）
 - ・ 全国学力調査・とちぎっ子学習状況調査・学習定着度調査・生活アンケートの結果の分析及び指導の工夫改善についてのホームページ公開（3月）
 - ☆ 「街の先生」などの地域のボランティアの協力を得た授業や学習支援の実施（通年）

平成29年度 児童生徒指導に関する取組

1 児童生徒指導上の主な実態

(1) 問題行動等調査から

- ・ 昨年度はいじめがなかった。いじめに発展していない小さなトラブルは見られたが、日々の観察や毎月実施しているいじめアンケート、教育相談などで、改善・解消されている。
- ・ 昨年度、学校生活にうまく適応できない児童が見られたが、速やかに問題行動対策委員会で話し合い、学級担任以外の職員が対応したり、保護者と連携を図ったりなどの対応をしてきた。

(2) 国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙などから

- ・ 「学校の決まりやマナーを守っていますか。」「社会生活のルールや公共の場所でのマナーを守っていますか。」の肯定割合は、86.7%で規範意識は高い。
- ・ 「学校で、先生や友達などにあいさつをしていますか。」「地域で知っている人などにあいさつをしていますか。」の肯定割合も市の平均を上回っている学年がほとんどで、校内、校外でのあいさつの意識が定着してきている。「言葉づかいに気をつけている。」の肯定割合も高学年になるにしたがって高くなり、市の平均を上回っている。
- ・ 「だれに対しても思いやりの心をもって接している。」「困っている友達に手助けをしている。」の肯定割合は上学年にいくにしたがって高くなっている。学年が上がるにつれ友達との関係が良好になる傾向にある。
- ・ 「毎日朝食を食べていますか。」の肯定割合は市の平均を上回っている学年が多い。「好き嫌いをしないでたべていますか。」の肯定割合は市の平均を上回ってはいるが、高学年になると50%を下回っている。「歯磨きをしていますか。」「早寝早起きを心掛けている。」に関しては市の平均を下回っている学年もある。全体的に健康に関する関心が低い傾向がみられる。

(3) 学校生活の状況から

- ・ 指示されたことなどには比較的まじめに取り組むが、自分で考えて判断し、主体的に取り組む姿勢が十分に育っていない。
- ・ 返事の声がやや小さく、自分から進んで自分の考えを言える児童が少ない。
- ・ 言葉遣いがやや荒く、友達を呼び捨てにしたり、思いやりに欠ける言葉を発したりしてしまう児童がいる。
- ・ 教室や廊下をを走ったり体を動かす遊びをしたりしてしまう児童がいる。
- ・ 児童数が増加しており、休み時間に校庭で遊ぶ際にぶつかり合うことがあり、けが等も発生している。

2 今年度の重点目標

- 「学校や社会の決まりやマナーを守り、相手の気持ちを考えて生活できる児童の育成」
(社会性・リーダー性の育成)

3 今年度の取組（「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に☆）

- （1） 基本的な生活習慣の育成

☆ 児童会を中心とし、学級ごとに分担した「あいさつ運動」（年15回）。横川地域学校園で同一時期に行う「あいさつ運動強化週間」及び地域と連携した（月1回の交通指導時）あいさつ運動の実施

- ☆ 時計を見ての着席の徹底（通年）
- ☆ 友達のさん付けの呼び方，時と場を考えた丁寧な言葉遣いの指導（通年）
- ☆ 話の聞き方の指導の徹底（通年）
- （2） 規範意識の醸成
 - ☆ 道徳・学級活動でいじめや人権に関わる問題を題材とした授業を実施（年に1回）
 - ・ 薬物乱用防止教室の実施（7月）
 - ・ いじめゼロポスターコンクールへの全校生参加
 - ・ 横央小「みんなの約束」を活用した日常指導
 - ・ 生活当番を編成して，校内生活指導を推進する。
- （3） 望ましい集団づくり
 - ☆ Q-U検査を生かした学級集団の実態把握と学級経営
 - ・ 全校児童による縦割り班清掃活動（常時）
 - ・ 児童会縦割り班活動集会（11月）・縦割り班での会食（2月）の実施
 - ・ いじめ根絶（10月）の標語づくり
 - ・ いじめゼロ強調月間（5月・10月），いじめゼロ集会の実施（10月）
 - ☆ 冒険活動教室や修学旅行，遠足等の体験活動での豊かな人間関係の構築
- （4） 個に応じた指導の充実
 - ・ 配慮児童に対しての指導やいじめの根絶を目指した指導として「児童の情報交換会」の実施
（毎週水曜日の打ち合わせ時）
 - ・ 児童指導研修会における要配慮児童についての共通理解（5月・9月）
 - ・ 全児童について，児童指導の記録の累積と活用
 - ・ 特別な支援を要する児童の個別指導計画の作成および全職員での共通理解，事例研究会の実施（5月・11月）
 - ・ 毎月のいじめアンケート実施によるいじめ等個々の問題の把握と支援
 - ☆ 教育相談週間の実施（6月・12月）や教育相談ポストの活用
 - ・ スクールカウンセラーとの連携
- （5） 家庭・地域，関係機関などとの連携
 - ☆ 横川地域学校園スタンダードの推進（いじめゼロ あいさつ 時間 言葉遣い）
 - ・ 家庭訪問の実施（4・5月）
 - ・ 個人懇談の実施（7月）
 - ・ 社会科，生活科，総合的な学習の時間などの授業における保護者の協力，地域施設との連携
 - ・ 「横川地域学校園児童生徒指導強化連絡会」や「進学先学校訪問」（6年生1月）などの小・中学校間での連携
 - ・ 生活科の秋まつり（2年生11月），幼稚園との交流活動（1年生1月）
 - ☆ 「魅力ある学校づくり地域協議会」での地域・家庭との連携を図った多様な教育活動や地域人材を活用した活動（田川コスモスロード，読み聞かせ，昔遊び，藁縄ない，田植え，稲刈り等）
 - ☆ 地域行事「飯ごう炊さん」「花いっぱいコンクール」「子どもフェスタ」「横川地区体育祭」「横川地区ふれあいまつり（文化祭）」「凧あげ大会」などへの児童参加，地域との連携

平成29年度 健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

1 健康（体力・保健・食・安全）に関する主な実態

(1) 定期健康診断・元気っ子健康体力チェックから

- ・ 視力については、学年があがるにつれて低視力の児童の割合が増加する傾向にある。片眼B以下の児童が26.3%（本県29.5%，全国31.5%）と県や全国平均よりは下回っているが、0.3未満の児童が昨年度の5.8%よりも約2倍増えて、11.4%と割合が高くなっている。
- ・ 本校のむし歯処置完了者の割合は県や全国平均と比べて高く、治療状況は良い。むし歯経験者の割合が本校では58.7%（本県54.3%，全国48.9%）と、むし歯経験者の割合が高いことので、継続的なむし歯予防対策が必要である。家庭での歯磨き習慣に個人差があり、家庭での歯磨き習慣の定着に課題がある。
- ・ 握力・長座体前屈・立ち幅跳びについては、学校全体として全市平均を下回る傾向にある。つまり、筋力（握力）・柔軟性・跳躍力などに課題が見られる。特に、握力には課題がある。
- ・ 20mシャトルラン・反復横跳び・上体起こし・ソフトボール投げについては、学校全体として概ね市の平均を上回る傾向にある。全身持久力・敏捷性・筋力・投力は、優れている面が見られる。

(2) 元気っ子健康体力チェックのアンケート及び国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙などから（※体力・保健・食・安全について、それぞれ記入する。）

- ・ 「運動が好きである。」「運動することは大切だと思う。」と答える児童の割合は全体的に高い傾向にある。一方、「休み時間、放課後、休日などに自分から進んで運動をしている。」と答えた児童の割合は他の項目に比べて低い傾向にある。運動に親しむ気持ちは高まっている一方で、運動を継続するための習慣化には至っていないことがわかる。
- ・ 「好き嫌いをせずに、食べていますか。」について、「食べている。」と答えた割合が市の平均を上回る学年もある。全体として8割程度好き嫌いをせずに食べている。今後も、食事の好き嫌いについて、家庭と連携した取り組みを進めていくようにする。
- ・ 「毎食後歯磨きをしている。」と答えた児童の割合は、3年生以上において、市の平均を下回っている。学年が進むにつれて歯磨きをしなくなる傾向がある。家庭での歯磨き習慣に個人差があり、課題が見られる。

(3) 授業や健康安全・体育的行事等への取組状況から

（※体力・保健・食・安全について、それぞれ記入する。）

- ・ 手洗い、うがいやマスクの着用、毎食後の歯磨きなどの衛生習慣がきちんと身に付いていない児童が見られる。
- ・ 全校的に、体を動かすことが好きで進んで運動に取り組んでいる児童が多いが、運動の得意・不得意によって個人差が見られる。
- ・ 休み時間は、外遊びを好まず室内で過ごす児童も見られる。全校的に外遊びの励行を図っていく必要がある。
- ・ 各種検定や体育的行事に積極的・継続的に取り組んでいる児童が多く見られるが、運動の好き嫌いによって取り組みの個人差が大きい。

2 今年度の重点目標

自ら進んで心と体の健康づくりに取り組む児童の育成

3 今年度の取組（「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に☆）

○（1）望ましい食習慣の育成

☆ 各教科、学級活動、総合的な学習の時間などにおける食育の実施（通年）

- ☆ 給食指導の充実（通年）
 - ・ 「嫌いなものも一口食べる」運動の実施（通年）
 - ・ 給食週間の実施（1月）
 - ・ 異学年での交流給食の実施（2月）
 - ・ 食物アレルギーを有する児童に対する個に応じた対応（食物アレルギー対応マニュアルに沿って食物アレルギー給食対応委員会の実施）
- ☆ 健康部年間指導計画における個別食育指導（朝食摂取・食習慣の改善）
- （2）健康・体力の向上
 - ・ 健康部年間指導計画における個別保健指導・運動指導
 - ☆ むし歯リスク者のグループ指導の実施（6月～7月）
 - ・ 薬物乱用防止教室の開催（6年対象）
 - ☆ 学校歯科医による「臨時歯科検診（対象者）」・「歯の健康教室（3年対象）」の実施
 - ☆ 課題学習や養護教諭の参加を取り入れた保健学習の実施
 - ☆ 学級活動における保健指導の充実
 - ☆ 元気っ子健康体力チェックの結果をふまえた教科体育における補強運動の継続（通年）
 - ☆ 自己の体力にあつためあてをもたせ、主体的に取り組ませる教科体育の実施（通年）
 - ・ 水泳・なわとびの検定等の実施（水泳6～9月，持久走10～11月，なわとび12～1月）
 - ・ 宇都宮市元気っ子チャレンジへの参加
- （3）家庭・地域との連携・協力
 - ・ 学年だよりによる啓発（保健・食育・体力）
 - ☆ 給食だよりの発行（通年）
 - ・ 地産地消委員会の実施（11月）
 - ・ 学校保健・給食合同委員会の実施（2月）
 - ・ お弁当の日の実施（地域学校園での共通実施【12月】【2月】）
 - ・ 1年生の親子給食の実施（10月）
 - ・ 地域ボランティアとの交流給食（1月）の実施
 - ☆ 食育と健康，体力についてのたより「スマイル」の発行（通年）
 - ☆ 保健だよりの「げんきっこ」の発行（通年）
 - ・ 歯の健康教室等への保護者の参加呼びかけ
 - ・ 体育的行事への家庭や地域への参加呼びかけ（5月 運動会 11月 持久走大会）
 - ☆ 他機関と連携しての交通安全教室（6月）
 - ・ 4年生の自転車安全教室の実施（10月）
 - ・ 学級懇談後の通学路点検（4月・6月・2月）
 - ・ 保護者・地域の方の協力による安全パトロールの実施（通年）
 - ・ 登校指導の実施（毎月）・保護者の協力（毎日）
 - ☆ 警察スクールサポーターなどと連携した防犯教室・防犯避難訓練（7月）の実施
 - 避難訓練の充実（引き渡し訓練など）
- （4）横川地域学校園の取組
 - ・ 食育に関する情報の共有化
 - ・ 健康に関する情報の共有化
 - ・ 体力に関する情報の共有化